

【総務建設委員会 市内視察報告】

視察日：令和7年11月6日（木） 10：00～11：00

出席者：中西委員長・脇村副委員長・西口委員・堀川委員・花野委員・武田委員

和歌山河川国道事務所と工事受注会社の協力のもと、有田海南道路に関わる工事の視察を行いました。現場事務所で概要と進捗状況について説明を受け、その後、掘削現場に入り、作業の様子を見学しました。



【現場事務所で説明】



【トンネル入口】

有田海南道路 1号トンネル工事

全長 1.5 kmのうち約 1 kmが掘削済みで、爆薬を使用した掘削で3～4 m/日のペースで進んでおり、狭いトンネル内での安全対策が徹底されていきました。掘削完了後も舗装や設備工事が続くため、完成には2～3年を要する見通しである。

一方で、2～4号トンネルは未着手で、全線開通時期は国の予算に左右されることから、議会としても継続した要望活動が必要であると感じました。道路が完成すれば、渋滞の緩和、所要時間の短縮、災害時の代替ルートの確保など大きな効果が期待できる。



【掘削最深部】



【星越池改修】

有田海南道路 星越池改修工事

樹木伐採や土砂搬入などの準備作業が進んでおり、本格着工は令和8年3月からで、工期は約3年とのことであった。池の約1/3を道路整備のために埋め立てる一方、池底の浚渫（2 m）や堤体等の改修で、貯水量は現状と大きく変わらないとの説明を受けた。国道の急カーブが直線化されることで事故減少が見込まれるが、池の縮小に対する地元への丁寧な対応が必要であると感じました。